



複十字シールには、**健康を願うメッセージ**が込められています。

2024年度は、「自然との調和」をテーマに生命(いのち)を持つものたちが共に生きる姿をシールにしました。

4割が80歳以上の高齢者

この年齢層の人々の多くがかつて日本で結核がまん延した時代に感染を受けており、高齢となつてから免疫力の低下や加齢に伴うさまざまな健康問題によって発病するケースが多数を占めています。



20代では外国生まれの患者が7割

留学・就業で結核罹患率が高い途上国から多くの若年層が入国しています。



世界では総人口の約4分の1が結核に感染しています。

特にアジア、アフリカの国々は保健医療・結核対策の整備の遅れや貧困の問題を抱え、適切な治療を受けることが難しく、深刻な問題となっています。



ごあいさつ

複十字シール運動は、1952年に結核予防を国民の協力を得て進めていこうという趣旨の下に始まりました。以来、全国の結核予防会支部・婦人会と連携し活動しています。

2022年の日本の結核罹患率は人口10万人あたり8.2となり、結核低まん延の水準を維持しております。しかし、新登録者の中では高齢者と外国出生者が多くを占めており、重要な課題となっております。

結核ゼロを目指して、結核予防会は今後も結核制圧の手を緩めることなく、国内外の活動の強化に努めてまいります。複十字シール募金への皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。



公益財団法人結核予防会
理事長 尾身 茂

結核 予防会 とは

日本で結核がまん延していた1939年に内閣総理大臣に賜った皇后陛下の令旨に基づき設立されました。以来、日本と世界から結核をなくすための活動を続けています。

運動の はじまり

1904年にデンマークでクリスマスシールが発行され、その収益金は結核に苦しむ人々のために役立てられました。シールを使った募金活動は世界に広がり、現在も各国で行われています。結核予防会は1952年に最初のシールを発行しました。

+ 複十字章は世界共通の結核予防運動のシンボルです。

お問い合わせ

複十字シール募金は下記にて受け付けています。
お気軽にご相談ください。

公益財団法人茨城県総合健診協会

〒310-8501 水戸市笠原町489-5

<http://www.ibasouken.org>

TEL:029-241-0011



みんなで育てる、結核のない世界

複十字シール運動



複十字シール運動
イメージキャラクター
シールぼうや



結核を知って、
結核のない未来を
育てよう

結核をなくすため、複十字シール運動にご協力をお願いします！

主催：**+**公益財団法人結核予防会
Japan Anti-Tuberculosis Association (JATA)

後援：厚生労働省・文部科学省・公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会